

思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま

# 第6次高浜市総合計画 推進会議からの提言に対する 行政の考え方と対応



平成25年2月2日

# 目 次

## 基本目標Ⅰ みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

- 目標（１） 市民とともに歩む経営を行います . . . 1
- 目標（２） 次世代のために、健全な財政運営を行います . . . 5
- 目標（３） 市民と行政が信頼関係を深め、ともにまちづくりを行います . . . 7

## 基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

- 目標（４） 学びを通して人づくりを進め、夢と希望につなげます . . . 9
- 目標（５） 心たくましく健やかに育つ教育環境をつくります . . . 11
- 目標（６） 人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えます . . . 13

## 基本目標Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくらう

- 目標（７） まちの成長を支えるエンジンとして、産業を元気にします . . . 15
- 目標（８） 地域に根ざした新たなビジネスの芽を育みます . . . 17
- 目標（９） みんなでまちをきれいにします . . . 19
- 目標（１０） ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります . . . 21
- 目標（１１） 自然豊かな魅力あふれる憩いの場を守り、育てます . . . 23
- 目標（１２） 安全・安心が実感できる基盤づくりを進めます . . . 25

## 基本目標Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

- 目標（１３） 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます . . . 27
- 目標（１４） 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します . . . 29

## 提言テーマと行政の担当グループ 一覧

【提言数：33件】

目標 【分科会名】	提言テーマ	担当G	掲載P
目標（１） 【自治推進】	1. まちづくりのキャッチフレーズ「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を広げよう！	地域政策G	P.1
目標（２） 【財政】	1. より多くの市民のみなさんに財政状況に関心を持ってもらおう！ ①もっと身近に「財政」を感じてもらえるように、子どもから大人まで楽しめるゲームを作ろう！ ②目を引く『財政の情報』を継続的に（シリーズ化して）発信しよう！ ③市の財政が閲覧できるタッチパネルを公民館や子育て施設などに設置し、訪れた人が自由に閲覧できるようにしよう！ ④まちの財政が見える化しよう！	財務G	P.5
	2. 行政運営を効率化しよう！ ①効率化できた事例の発表をしよう！ ②目標管理をコスト削減で示そう！	人事G	
目標（３） 【自治推進】	1. 「高浜市自治基本条例 子ども向け副読本」を活用した出前授業に出かけよう！	地域政策G	P.7
	2. 地域で副読本を活用しよう！		
目標（４） 【生涯学習】	1. 生涯学習の取り組みを調査し、「現状の見える化」を行おう！	文化 スポーツG	P.9
	2. 調査した内容を取りまとめ、情報発信しよう！		
	3. 「教える人」と「教えてもらう人」との結び付けを考えよう！		
目標（５） 【学校教育】	1. まずは、市民や地域が関わる学校授業・行事を「見える化」していこう！	教育 センターG	P.11
	2. 学校の想いと地域の想いをマッチングさせていこう！		
目標（６） 【生涯学習】	1. 絵本を活用して、市民に「たかはま子ども市民憲章」を広めよう！	文化 スポーツG	P.13
	2. イベントを活用して「たかはま子ども市民憲章」の想いを知ってもらおう！		
	3. 笑顔の写真展（既存事業）をより充実しよう！		
目標（７） 【産業・観光】	1. 特産品の開発についてのアイデア	地域産業G	P.15
	2. 三州瓦の販路拡大についてのアイデア		

目標 【分科会名】	提言テーマ	担当G	掲載P
目標（８） 【産業・観光】	1. コミュニティ・ビジネスの起業支援策についてのアイデア	経営戦略G	P.17
	2. 新たな観光資源の発掘についてのアイデア	地域産業G	
目標（９） 【環境・憩い】	1. マナー向上作戦を実施しよう！	市民生活G	P.19
	2. 分別収集作戦を実施しよう！		
	3. ルール違反に粘り強く対応しよう！		
目標（10） 【防犯・防災】	1. 昼間に青パトで地域を巡回する際、道路標示や道路標識の不良箇所の情報を早期に行政に提供する。	都市防災G	P.21
	2. 高浜市の玄関口として、現在工事中の衣浦大橋交差点の立体橋の桁色の選定について市民の皆さんの意見を聞き、桁色を決定する。	都市整備G	
目標（11） 【環境・憩い】	1. 身近な憩いの場を大切にしよう！	都市整備G	P.23
目標（12） 【防犯・防災】	1. 家庭、地域、学校、職場で「あいさつ運動」を展開する。小学校の通学路に「あいさつ通り」を設置する。	都市防災G	P.25
	2. より効果が上がる「こども110番」活動を目指し、関係者による打合せや講習会などを開催する。		
	3. 標高サインの表示を希望するコンビニ、医療機関など、不特定の方が利用する施設に標高サインを配布し、啓発を図る。		
	4. 市内の防災リーダーやNPO団体、大学教授などによる、小中学校での防災教育の推進やNPO団体、大学教授、被災体験者などによる、東日本大震災の経験を伝承するための講演会を開催する。		
目標（13） 【地域福祉】	1. 「Newボランティア人」を地域に広めよう！	地域福祉G	P.27
	2. ボランティアがさらに元気になるようにしよう！		
	3. 高齢者・障がい者への理解とつながりを深めよう！		
目標（14） 【健康】	1. 地域医療ネットワークを知ろう！ かかりつけ医をもとう！	保健福祉G	P.29
	2. 「いきいき健康マイレージ」口コミ作戦を始めよう！ 「いきいき健康マイレージ」実践者の声を広めよう！		
	3. 地域の事業に積極的に参加しよう！		

## 提言内容（自治推進分科会）

### 1. まちづくりのキャッチフレーズ

「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を広げよう！

<まずはここから取り組もう！>

- ①のぼり旗を作って、地域や行政のイベントで活用しよう
- ②市から発信するメールに、ロゴを入れよう
- ③回覧板に表示しよう
- ④市役所の全ての封筒に表示しよう
- ⑤公共施設などに表示しよう
- ⑥広報・HPの表示を目立つようにしよう
- ⑦統一したロゴ・ステッカーを作ろう
- ⑧地域の会合やイベントの配布資料に表示しよう
- ⑨地域のイベントで、大家族たかはまを広めよう

<他にも…>

- ・職員の名刺に、ロゴを入れよう
- ・ロゴの入ったユニフォームを作ろう
- ・地域でもオリジナルPR品を作ろう
- ・イベントや名物の名称に「大家族たかはま」を冠として付けよう
- ・大たぬきに大家族たかはま T シャツやタスキなどを着せよう

# 歩む経営を行います

## 提言に対する行政の考え方と対応

担当部署：企画部 地域政策グループ

提言	<b>1. まちづくりのキャッチフレーズ</b> <b>「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を広げよう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input checked="" type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<p><b>【実施済み】</b></p> <p>①平成24年12月、のぼり旗を作製。シンポジウム、地域のイベント、駅伝などの市外のイベントの際に活用。1月1日号の広報でのぼり旗の貸出を告知。</p> <p>②平成24年10月、市からの発信メールにロゴを入れるよう各グループへ依頼、発信を開始。職員の個人メールにも、併せて依頼、発信を開始。</p> <p>③平成24年12月、在庫の回覧板にキャッチフレーズを印字。</p> <p>⑥平成24年10月15日号より、広報の表紙のキャッチフレーズを大きく表示。（掲載は、平成23年6月1日号～）</p> <p>⑦平成24年11月、統一したロゴを作り、行政各グループやまち協、広報などを通じて活用を促進。ホームページにロゴ集・イラスト集を掲載。</p> <p>⑧平成24年11月より、各まち協の会合にて、ロゴ集・イラスト集を提示、ロゴの使用を依頼。南部まち協、高浜まち協などで、実際にチラシや広報紙などに表示中。</p> <p>⑨南部まち協や高浜まち協では事業活動の際に、独自に作製したPR品や、大家族たかはまパネルなどを飾って、活用。</p> <p>&lt;他にも&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年10月、職員に対し、名刺への使用も依頼。</li> <li>平成24年10月、キャッチフレーズの入ったジャンパーを作製。会議や地域のイベント等で着用し、職員及び市民へも購入・着用を呼びかけ。</li> <li>平成24年7月より、南部まち協にて、キャッチフレーズの入ったボード、行燈、アーチなどを作製し、イベントの際に活用。行政では、市民生活グループがクリアファイルを、市民窓口グループがゴム印を作製。</li> <li>行政内でも、会議や回覧などの配布資料にキャッチフレーズを表示。</li> </ul> <p><b>【平成25年度に実施予定】</b></p> <p>④市役所の全ての封筒にキャッチフレーズを表示したものを発注し、使用する。（地域政策グループ、市民窓口グループでは、独自に表示したものを使用中）</p> <p>⑤キャッチフレーズを表示した手作りプレートを作製し、公共施設に設置する。</p>
提言を受けて	提言を受け、「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を広めるため、10月～12月をPR強化月間として、全庁挙げてPRに努めた。今後も地域の協力を得ながら、キャッチフレーズの趣旨等を伝えていきたい。



▲①大家族たかはまのぼり旗の活用  
(総合計画推進会議)



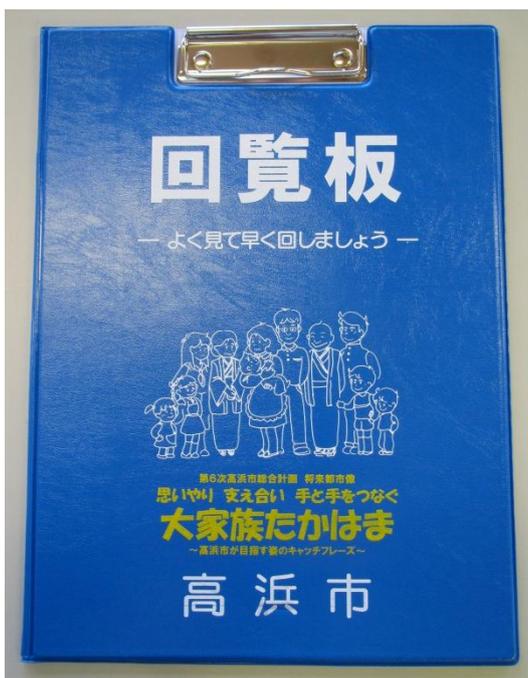
▲①大家族たかはまのぼり旗の活用  
(高浜まち協 親睦ソフトボール大会)



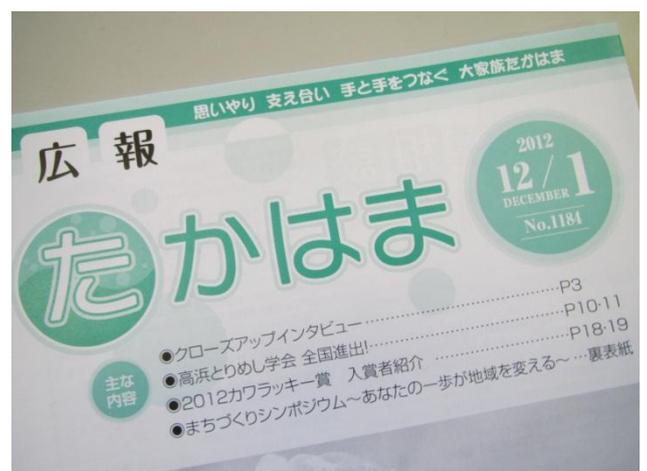
▲①大家族たかはまのぼり旗の活用  
(まちづくりシンポジウム)



▲①大家族たかはまのぼり旗の活用 (駅伝)



▲③回覧板に記載



▲⑥広報たかはまへの表示を拡大



▲⑨大家族たかはまアーチの作製  
(南部まち協 外淵公園まつり)



▲⑨大家族たかはまパネルの活用  
(高浜まち協 大山桜里親会)



▲大家族たかはまジャンパーの作製



▲大家族たかはまジャンパーの活用 (南部まち協)



▲大家族たかはまゴム印の作製 (封筒に活用)



▲クリアファイルに記載

## 提言内容（財政分科会）

### 1. より多くの市民のみなさんに財政状況に関心を持ってもらおう！

- ①もっと身近に「財政」を感じてもらえるように、子どもから大人まで楽しめるゲームを作ろう！  
ex.わかりやすい予算書がヒント集となるような計算ドリルならぬ「財政ドリル」、  
「クロスワード」、「高浜市人生ゲーム」など
- ②目を引く『財政の情報』を継続的に（シリーズ化して）発信しよう！  
ex. 産業天気図を参考にした、誰もが分かるような財政天気予報（図）や、高浜市と〇〇が似てる世界の都市と比較しよう。
- ③市の財政が閲覧できるタッチパネルを公民館や子育て施設などに設置し、訪れた人が自由に閲覧できるようにしよう！
- ④まちの財政が見える化しよう！  
ex.標高サインのように公共施設などに建設費用などを明示する。

### 2. 行政運営を効率化しよう！

- ①効率化できた事例の発表をしよう！
- ②目標管理をコスト削減で示そう！

# 健全な財政運営を行います

## 提言に対する行政の考え方と対応

提言	<b>1. より多くの市民のみなさんに財政状況に関心を持ってもらおう!</b>
担当部署	総務部 財務グループ
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<p>① 子どもを対象とした大人でも楽しめる「財政クイズ」を作成し、平成25年3月開催の市民会議において分科会対抗クイズ大会を開催する。来年度は、今回作成したクイズなどを活かした「財政ゲーム」を作成する。</p> <p>② 今年度からスタートした「わかりやすい財政のお話」の広報への掲載を、バージョンアップし、来年度はシリーズ化した内容で継続して市民のみなさんにお伝えする。</p> <p>③④ 市役所、図書館、学校など若年層が利用する公共施設等において、その施設に関連する、<u>市民が知りたい、市民に伝えたい財政情報を、ポスターなどのツールを活用して「まちの財政の見える化」を図る。</u></p>
提言を受けて	複数の方が共通ツールを活用し、関心度を高める手法は非常に有効であると感じる。また、冊子などのように手に取って中を見なくても自然と目に入ってくるような仕掛け・工夫も新たな手段としてぜひ取り入れていきたい。

提言	<b>2. 行政運営を効率化しよう!</b>
担当部署	企画部 人事グループ
実施状況	A. 既に実施済 <input type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input checked="" type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年1月29日に開催予定のタイムマネジメント研修を実施するなど、民間企業の考え方や手法（マネジメント）を学び、それを行政の中に取り込むことによって、古い行政の考え方や手法（いわゆる「お役所仕事」）を払しょくするとともに、<u>職員の意識改革と行政運営の効率化を図る。</u></li> <li>高浜市の将来を切り拓いていくための知識や実践のノウハウを身につけていくため、平成25年4月より「<u>たかはま地域経営実践塾</u>」を開講し、<u>積極的・主体的に行動していける人材の育成を行う。</u></li> </ul>
提言を受けて	提言の趣旨を踏まえ、行政運営の効率化に資する職員の育成を図るべく、タイムマネジメント研修の実施や「たかはま地域経営実践塾」を開講する。

# 目標（４） 学びを通して人づくりを

## 提言内容（生涯学習分科会）

### 《段階を踏んで、生涯学習のネットワークを構築していこう！》

#### 1. 生涯学習の取り組みを調査し、「現状の見える化」を行おう！

- ① 各地域、各団体などでさまざまな取り組みが実施されているが、まずは、市内でどのような取り組みが行われているかを広く調べてみるはどうか。（例えば、ジャンル別、対象別、地域別、生涯学習の段階別など）
- ② 情報収集にあたっては、行政の全部署（それぞれの部署でおつきあいのある市民団体等も含む）はもちろん、市民会議メンバー150人にも呼びかけ、掘り起こしをしていったら、かなり多くの情報が集まるんじゃないかな？
- ③ 地域の達人（いろいろと知識や技能などを持った人）を探し出して、達人の一覧表を作成してみよう。

#### 2. 調査した内容を取りまとめ、情報発信しよう！

- ・ 各地域、各団体などで行われている取り組みについて情報発信・情報共有することで、お互いの取り組みのさらなる充実が期待できるのでは？
- ・ 市広報紙やたんぼぼニュースなどで、達人の紹介記事を掲載し、チェーンネット形式で“達人の輪”を広げていってはどうか？（チェーンネット：紹介された達人が次の達人を紹介することで、紹介の記事を継続させる。）

#### 3. 「教える人」と「教えてもらう人」との結び付けを考えよう！

- ① ・ 達人がいても活躍の場がなければ意味がない。達人を必要としている団体などから「求人広告」のようなリストを作成してみよう？
  - ・ 子どもの側（教えてもらう側）からも、教えてほしい先生を求めるコーナーがあってもよいのでは？
- ② 達人が活躍できる場のセッティングも必要になってくるのでは？

# 進め、夢と希望につなげます

## 提言に対する行政の考え方と対応

担当部署:こども未来部 文化スポーツグループ

提言	<b>1. 生涯学習の取り組みを調査し、「現状の見える化」を行おう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>生涯学習の取り組み（行政内部）を調査して取りまとめを行った。（平成24年12月実施）</u></li> <li>② <u>市民会議メンバーをはじめ、市の補助を受けている団体やボランティア活動を行う企業などに生涯学習に関する取り組み（地域）を調査し、取りまとめを行う。（平成25年1月より随時調査）</u></li> <li>③ <u>とりまとめをした調査結果は、対象別、ジャンル別、地区別など、見る人にとってわかりやすくまとめ、ホームページに一覧を掲載する。（平成25年2月より実施）</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高浜（まち）の学校」（仮称）（※提言3の回答参照）の参考資料として活用する。</li> </ul> </li> </ul>
提言	<b>2. 調査した内容を取りまとめ、情報発信しよう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月に地域の達人紹介記事第1弾を作成し、<u>市公式ホームページに掲載する。</u></li> <li>・2月15日号を皮切りにして、<u>市広報に地域の達人紹介記事を定期的にチェーンネット形式で掲載する。</u></li> </ul>
提言	<b>3. 「教える人」と「教えてもらう人」との結び付けを考えよう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>提言1にある調査結果の取りまとめを掲載したホームページの中に、<u>学びたい人がその思いを発信するコーナー</u>を設ける。</u></li> <li>② <u>地域で様々な特技や専門分野を持った人（地域の達人）が「高浜（まち）の先生」になり、<u>楽しい学び・好奇心をかきたてる学びのプログラム</u>を提供する「高浜（まち）の学校」を実施し、<u>教える人と教えてもらう人がつながり合う場をつくるとともに、<u>まなびの担い手同士</u>が<u>つながり合う場</u>を目指す。</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>3月に「高浜（まち）の学校」（仮称）の試行版を開催し、平成25年夏に本格実施する。（本格実施にあたっては、実行委員会を立ち上げる。）</u></li> </ul> </u></li> </ul>
提言を受けて	<u>教える側と教えられる側との新しい出会いや気づきがお互いに生まれるような場を作り上げるきっかけづくり、そして組織づくりも検討する。</u>

# 目標（5） 心たくましく健やかに

## 提言内容（学校教育分科会）

### 1. まずは、市民や地域が関わる学校授業・行事を「見える化」していこう！

- 年間を通してどんなことが行われているか、また、学校が市民や地域からどんな力を借りたいのか情報を集め、全体像が見えるようにし、もっと発信していったらどう？

→ 広報、クチコミ、メールマガジンなど、様々な方法で & 機会あるごとに発信し続けていくことによって、「ちょっと足を運んでみよう」、「これくらいなら私も協力できるかも…」といった行動につながっていくんじゃないかな？

→ 各学校から集めた情報は、「生涯学習プロデュースネット」の方へも提供し、お互いに情報を共有し、活用していきたいね！

### 2. 学校の想いと地域の想いをマッチングさせていこう！

- 学校の「こんな人材・企画を求めている」という声と、市民・地域の「こんなことが協力できるよ」という声を、調整・コーディネートする仕組み・機能があるといいね。

→ 子どもたちに、「地域の方からこんな話を聞いてみたい」、「こんなことを教わってみたい」「こんなことに挑戦してみたい」といったリクエストを聞いて、興味・関心を持てる授業や行事の企画を立ててみては？

→ 「土曜授業」（地域の人と一緒に学ぼう & 体験しようデー）なんていうのもいいんじゃない？ 子どもだけでなく、大人も受講者として参加できるといいね！

## 提言に対する行政の考え方と対応

担当部署:教育委員会 教育センターグループ

提言	<b>1. まずは、市民や地域が関わる学校授業・行事を「見える化」していこう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>地域の各種団体が企画し、学校へ子どもの参加依頼が寄せられる行事・イベント</u>」について調査・とりまとめを行い、<u>課題を洗い出した</u>。(平成24年9月に実施)</li> <li>・「<u>広報たかはま</u>」の毎月1日号に、市内7校の記事を「<u>学校通信</u>」という形で順次掲載し、<u>学校が今必要としている支援の内容等を発信した</u>。(平成24年6月から実施中)</li> <li>・<u>公開授業・行事・給食試食等の情報をとりまとめ、まずは学校教育分科会メンバーによる学校訪問をスタートした</u>。(平成24年10月から実施中)</li> <li>・<u>学校授業・行事等のとりまとめた情報は、こども未来部文化スポーツグループがとりまとめている生涯学習情報の方へも提供し、情報共有と相互活用を進める</u>。(平成25年度から実施)</li> </ul>
提言	<b>2. 学校の想いと地域の想いをマッチングさせていこう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本構想の推進組織の一つとして「<u>学校支援ボランティア推進部会</u>」を設立し、各小中学校における教育支援活動の現状等について意見交換をし、「<u>地域の各種団体が企画し、学校へ子どもの参加依頼が寄せられる行事・イベント</u>」や「<u>学校が現在困っていること</u>」「<u>支援があると助かる事業</u>」を確認し、<u>課題を洗い出した</u>。(平成24年7月・9月に実施)</li> <li>・<u>学校の想いと地域の想いをコーディネートする機能の設置検討については、分科会からのアイデアと学校現場の声を踏まえながら進める</u>。(平成25年度から実施)</li> <li>・<u>翼小学校では毎週土曜日に「土曜クラブ」として、地域住民が講師となった子ども対象の講座・教室が通年で行われている</u>。対象や内容、実施箇所の拡大など、<u>こうした取り組みが少しずつ広がるように効果等を発信する</u>。</li> </ul>
提言を受けて	見える化とマッチングは、学校をサポートする手段の両翼である。特にマッチングについては、 <u>学校と地域（市民）との信頼関係が鍵である</u> 。学校現場が受け入れやすく、 <u>教員も地域（市民）も手の届きやすい取り組みからスタートさせ、一歩、一歩実績を積み重ねながら前進させたい</u> 。

# 目標（6） 人のつながりやぬくもり

## 提言内容（生涯学習分科会）

### 《「たかはま子ども市民憲章」の想いを浸透させよう！》

#### 1. 絵本を活用して、市民に「たかはま子ども市民憲章」を広めよう！

（例えば・・・）

☆人の目につく形で貼り出そう！

（絵本は手に取ってもらう必要があるが、  
貼り出せば読まれるチャンスが増える！）

#### 2. イベントを活用して「たかはま子ども市民憲章」の想いを知ってもらおう！

（例えば・・・）

☆子どもが親や祖父母と参加するイベント（新規・既存）において「たかはま子ども市民憲章」のPRをしよう！

（自分の子や孫と触れ合う活動に参加する子どもへの関心がある大人に対してPRすることで、地域の子どもの意識拡大が期待できる！）

#### 3. 笑顔の写真展(既存事業)をより充実しよう！

（例えば・・・）

☆子どもによる大人の撮影やご近所同士等の部門の設定をしよう！（部門を設定することで自然とそれに合わせた形でのコミュニケーションが図られる。）

☆展示場所を増やそう！

（写真が多くの人目に触れることで写真展の意図をPRする機会が増え、写真展への写真応募へのきっかけ作りにもなる。）

# の中で、子育て・子育てを支えます

## 提言に対する行政の考え方と対応

担当部署:こども未来部 文化スポーツグループ

提言	<b>1. 絵本を活用して、市民に「たかはま子ども市民憲章」を広めよう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度笑顔の写真展会場（青少年ホーム）において、『わたしはね・・・』のラミネートパネルを掲示した。来年度の笑顔の写真展でも引き続き行い、その他のイベントでも活用を図る。</li> <li>親子が集まるCAP（子どもへの暴力防止プログラム）や健診の際に絵本やチラシを配布し、啓発を行っている。</li> <li>絵本の在庫が無くなりつつあるため、平成25年度に増刷を行う。</li> <li>平成25年度は笑顔の写真展表彰式等で、絵本の読み聞かせを行う。</li> </ul>
提言	<b>2. イベントを活用して「たかはま子ども市民憲章」の想いを知らせてもらおう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年11月1日に中央公民館で行われた「家庭教育推進大会西三河大会」において、笑顔の写真展パネルの掲示と人気投票を行った。その際、憲章の条文も掲示を行った。</li> <li>11月1日～7日の「たかはま子ども市民憲章を知る週間」において、各小学校で給食の時間などを活用して、子ども市民憲章の校内放送を行い、啓発を行った。</li> <li>平成24年11月4日に、いきいき広場で行われた「わくわくフェスティバル」においても、笑顔の写真展パネルの掲示と人気投票を行い、また、子ども市民憲章の啓発チラシを配布するなど、来場された多くの方々に市民憲章や笑顔の写真展をPRできた。</li> <li>「高浜（まち）の学校」（仮称）（※5ページ参照）で、子どもと親、地域の人とが触れ合う事業を実施する中で、パネル展示等により、啓発を行う。</li> </ul>
提言	<b>3. 笑顔の写真展(既存事業)をより充実しよう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示場所については平成24年度から、いきいき広場と青少年ホームの2ヶ所での展示を開始した。また、笑顔の写真展のパネルを市内5つの小学校に配布し、11月の1か月間設置をお願いした。</li> <li>平成24年度までは、親が子どもの写真を撮影していたが、平成25年度から、子による親の撮影やご近所同士の撮影など、部門を新設し、より多くの方が応募でき、写真展に関われるようにする。</li> <li>笑顔の写真展DVDを、笑顔の写真展会場やその他のイベントでも放映し、より多くの方に市民憲章や写真展のことを知っていただけるような働きかけをする。</li> </ul>
提言を受けて	子ども市民憲章を普及していくために、今後もPRできるイベントを検討する。笑顔の写真展については、写真の応募数も年々増え、徐々に浸透しつつあるため、提言としていただいた、部門の新設などによって、より子どもと大人がコミュニケーションをとることができる機会を提供する。

## 目標（7） まちの成長を支えるエン

### 提言内容（産業・観光分科会）

#### 1. 特産品の開発についてのアイデア

- ① 産直での販売をもっとホームページや広報でPRしたほうが良い。
- ② 市内の飲食店や「まちの料理自慢」の協力を得て、特産品のおいしい食べ方を発信してはどうか。そこから話題の味が生まれれば、特産品としてメジャーデビューできるかも。
- ③ 季節や収穫の時期とあわせた、PRのためのタイムスケジュールが必要。特産品（特産野菜）開発プロジェクトの活動のお披露目も兼ね、タイミングの合う市内イベントの中で試食会やアイデア募集などをおこない、反応を見ながら、話題をつくるようなかたちからスタートさせては？
- ④ 特産野菜が確定したら、将来的には、作る人を広く募集すると良い。

#### 2. 三州瓦の販路拡大についてのアイデア

- ① 以前、北海道で鬼師の実演をおこなったところ非常に人気だった。鬼師の作業場など既存の施設で実演が見られるようにし、そこに来訪者を案内するような運用の組織を整えては？
- ② 鬼師の実演等を市内外の人の集まるところで実施して、これまで以上に積極的に三州瓦の伝統とブランドを強くアピール。

# シンとして、産業を元気にします

## 提言に対する行政の考え方と対応

担当部署: 都市政策部 地域産業 グループ

提言	<b>1. 特産品の開発についてのアイデア</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<p>① 産直のPRについては、平成25年1月1日号広報に掲載し、来年度も掲載を予定している。また、平成25年3月号の農協の広報紙でもPRの予定で、今後も積極的に発信を行う。</p> <p>② 来年度の各種（JA及び市主催の）イベントで特産野菜の試食等を企画する。又は市内の飲食店にも依頼し、料理レシピ案を募集する予定である。</p> <p>③ 来年度、季節ごとの特産野菜の収穫をイベントや広報を活用してPRしていく。また、加工品のアイデアを募集し、市民の反応を見る。</p> <p>④ 来年度、特産品が決まったら、農用地利用改善組合のメンバーや農家の協力を得て、農作物の作付けの依頼をする。</p>

提言	<b>2. 三州瓦の販路拡大についてのアイデア</b>
実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> A. 既に実施済 B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<p>① 現在、鬼師の作業実演見学については、若鬼士会の協力により、高浜市観光協会や鬼みち案内人の会へ申込みと、市内5か所で実演の見学が可能となっている。</p> <p>② 鬼みちまつりなど市内のイベントはもちろんのこと、市外でのイベントを活用してチャンスにつなげる。例えば平成24年度は、刈谷ハイウェイオアシス「たかはまの鬼瓦職人展」にて鬼瓦の制作実演・販売が好評を博した他、衣浦定住自立圏域の観光分野の連携を活かし8月の刈谷わんさか祭りで鬼瓦のPRを行った。県外では三州瓦の展示会等で鬼瓦制作の実演、北九州でのB-1グランプリにおいてはとりめしとともに三州瓦のPRをするなど「合わせ技」でアピールする機会もつくった。今後もこのような機会をとらえ、積極的な情報発信を行う。</p>

提言を受けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産野菜が確定したら、販売箇所のPRや食べ方・レシピの情報発信を実施する。同時に参画農家の方々も広く募集する。</li> <li>・瓦・鬼瓦は今後も関係機関と連携し、PRを積極的に行う。</li> </ul>
--------	--

## 目標（8） 地域に根ざした新たな

### 提言内容（産業・観光分科会）

#### 1. コミュニティ・ビジネスの起業支援策についてのアイデア

- ・コミュニティ・ビジネスを起業するときに、財政状況は厳しいと思うが、新たなビジネス創出に対して、運営資金等の支援策を考えたかどうか。

#### 2. 新たな観光資源の発掘についてのアイデア

- ・ 瓦、鬼瓦、鬼師、とりめし・・・つなげて広めるPR!  
新しい観光資源の発掘も必要だが、まずは既存のものをつなげ、積極的に紹介することで相乗効果が生まれるはず！

# ビジネスの芽を育みます

## 提言に対する行政の考え方と対応

提言	<b>1. コミュニティ・ビジネスの起業支援策についてのアイデア</b>
担当部署	企画部 経営戦略グループ
実施状況	A. 既に実施済 B. 一部実施済 <input checked="" type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 D. 実施しない
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域においてコミュニティ・ビジネスを起業しようとする個人、事業者又は市民公益活動団体に対し、<u>創業支援交付金及び運営支援交付金を交付する制度を平成25年度より実施する。</u></li> <li>・キラリ☆アイデア発表会(1月20日)を経て、現実に即したコミュニティビジネスの支援についての検討を更に深める。</li> </ul>
提言を受けて	地域の課題を解決するためのコミュニティ・ビジネス創出に向け、起業に対する支援策をその一助とし、また、引き続きコミュニティ・ビジネスの周知を実施する。

提言	<b>2. 新たな観光資源の発掘についてのアイデア</b>
担当部署	都市政策部 地域産業グループ
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 C. 平成25年度に実施予定 D. 実施しない
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年10月に北九州で開催された、B-1グランプリに『とりめし』が参戦し好成績を収めた。このとき、三州瓦・鬼瓦のPRも行い好評を得た。平成25年も11月開催予定のB-1グランプリ豊川に参戦予定であり、三州瓦・鬼瓦のPRもあわせて行う。</li> </ul>
提言を受けて	高浜市のじまんである、三州瓦・鬼瓦・とりめしを相互の出展の場において情報発信する。

## 提言内容（環境・憩い分科会）

### 1. マナー向上作戦を実施しよう！

- ・マナー向上のために子どもたちの力を借りよう
  - （1）学校で分別収集を実施しよう
  - （2）子どもが大人を教育できるような環境学習を実施しよう

### 2. 分別収集作戦を実施しよう！

- ・みんなで分別方法を学ぼう
  - （1）分別 Q&A をつくろう
  - （2）町内会の皆さんをエコハウスに呼ぼう
  - （3）市民一斉清掃に参加しよう

### 3. ルール違反に粘り強く対応しよう！

- ・不法投棄撲滅作戦を実施しよう
  - （1）不法投棄情報を公開してみんなに実態を知ってもらおう
  - （2）不法投棄現場を重点監視地域に指定しよう
  - （3）不法投棄を無くす実験を行おう

## 提言に対する行政の考え方と対応

担当部署：市民総合窓口センター 市民生活グループ

提言	<b>1. マナー向上作戦を実施しよう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでまちをきれいにする課題「マナー向上について」<u>モデル校を指定し、子どもから大人へマナー向上を啓発してもらう事業展開を図る。</u>(平成25年1月から実施)</li> <li>・<u>ごみ処理基本計画に子どもの視点を取り入れた検討体制を確立する。</u>(平成25年1月から実施)</li> <li>・学習の成果を発表できる場として高浜エコハウスで実施している<u>分別大相撲を学校単位で展開する。</u>(平成24年11月より着手)</li> </ul>

提言	<b>2. 分別収集作戦を実施しよう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども(学校単位)に環境美化推進員に登録してもらい、分別収集の実践、分別Q&amp;Aなどの<u>環境学習を展開する。</u>(平成24年11月より着手)</li> <li>・町内会の役員改選の時期である2月上旬に高浜エコハウスでの<u>分別学習をご案内し、分別方法の学習会を開催する。</u></li> </ul>

提言	<b>3. ルール違反に粘り強く対応しよう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄情報として<u>不法投棄現場のパネルを作成し、高浜エコハウス及び市内小学校で不法投棄を無くす啓発活動を実施する。</u>(平成25年2月実施)</li> <li>・苦情の多いごみステーションなどの対策として、<u>センサーライトの設置、子どもが作成したポスターの掲示などを試行的に実施し、効果のあったものから、その他の現場で実施する。</u>(平成24年11月より実施中)</li> </ul>

提言を受けて	その他の活動として、環境美化推進員の「見える化」のため「活動マップ」「活動カレンダー」を作成し、広報などで紹介することにより環境美化に対する啓発活動を強化する。(平成25年11月より着手)
--------	--

## 目標（10） ハーモニーを奏でる

### 提言内容（防犯・防災分科会）

1. 昼間に青パトで地域を巡回する際、道路標示や道路標識の不良箇所の情報を早期に行政に提供する。

2. 高浜市の玄関口として、現在工事中の衣浦大橋交差点の立体橋の桁色の選定について市民の皆さんの意見を聞き、桁色を決定する。

# 快適な都市空間をつくります

## 提言に対する行政の考え方と対応

提言	1. 昼間に青パトで地域を巡回する際、道路標示や道路標識の不良箇所の情報を早期に行政に提供する。
担当部署	都市政策部 都市防災グループ
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり協議会に対して、青色防犯灯パトロール時に、道路標示や道路標識などの不良箇所についての情報提供を依頼した。</li> <li>今後、青色防犯灯パトロール講習会の開催時に、参加者に対して、道路標示や道路標識などの不良箇所の情報提供を呼びかける。</li> </ul>

提言	2. 高浜市の玄関口として、現在工事中の衣浦大橋交差点の立体橋の桁色の選定について市民の皆さんの意見を聞き、桁色を決定する。
担当部署	都市政策部 都市整備グループ
実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> A. 既に実施済 <input type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年9月24日（月）に開催された、第3回高浜市の未来を創る市民会議において、衣浦大橋の立体橋の桁色を「水色」「灰色」「クリーム色」「緑色」「黄土色」の5色から1色を選んで投票を行い、開票の結果、47票を獲得した「黄土色」に決定した。</li> <li>桁色の決定については、高浜市の未来を創る市民会議☆ニュースレター☆に掲載するとともに、第4回高浜市の未来を創る市民会議において、参加者に対して報告をした。</li> <li>立体橋の完成は平成27年度後半を予定している（愛知県確認）。</li> </ul>

提言を受けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後とも都市空間づくりに、市民も参加・参画できる機会を増やし、まちへの愛着や長く住み続けたいと思う人を増やしていくため、皆さんの協力をお願いしたい。</li> </ul>
--------	--

## 提言内容（環境・憩い分科会）

### 1. 身近な憩いの場を大切にしよう！

- （1）「自分たちが憩える場所」「自分たちの公園」を守り育むという意識を広めよう。
- （2）皆が「憩い」「集う」場所は、いつも清潔で、緑や花もあることが望ましい。ゴミ投棄問題対策も絡め、地域の美化活動の力を発揮しよう。
- （3）個性的な景観づくりを模索するなど、自分たちの手で地域の特性やニーズに合わせた憩いの空間を作り育もう。

# れる憩いの場を守り、育てます

## 提言に対する行政の考え方と対応

担当部署：都市政策部 都市整備グループ

提言	1. 身近な憩いの場を大切にしよう！
実施状況	A. 既に実施済 B. 一部実施済 <input checked="" type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 D. 実施しない
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境美化及び公園の管理や道路の美化活動に尽力いただいている団体との協力体制を充実させる。</li><li>・高浜市の特性である海岸沿いの景観を活かした憩いの場の創出のため、平成25年度には、高浜緑地の上部部分の整備計画がいよいよ本格化する。内容・維持管理の考え方を含めて、市民の意見を反映したものにするために、地域のボランティア団体、各種スポーツ団体等との調整を図りながら、整備を進める。</li></ul>
提言を受けて	ごみ投棄等の環境美化の課題解決とリンクさせながら、地域のみなさんと一緒に公園や街路の美化及び整備に取り組む。

### 提言内容（防犯・防災分科会）

1. 家庭、地域、学校、職場で「あいさつ運動」を展開する。小学校の通学路に「あいさつ通り」を設置する。

2. より効果が上がる「こども110番」活動を目指し、関係者による打合せや講習会などを開催する。

3. 標高サインの表示を希望するコンビニ、医療機関など、不特定の方が利用する施設に標高サインを配布し、啓発を図る。（広報・ホームページで募集）

4. 市内の防災リーダーやNPO団体、大学教授などによる、小中学校での防災教育の推進やNPO団体、大学教授、被災体験者などによる、東日本大震災の経験を伝承するための講演会を開催する。

# できる基盤づくりを進めます

## 提言に対する行政の考え方と対応

担当部署: 都市政策部 都市防災グループ

提言	1. 家庭、地域、学校、職場で「あいさつ運動」を展開する。小学校の通学路に「あいさつ通り」を設置する。
実施状況	A. 既に実施済 B. 一部実施済 <input checked="" type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 D. 実施しない
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭、地域、学校、職場などで「あいさつ運動」を展開するよう、広報たかはまに掲載するとともに、各種団体が実施している登下校時の見守り活動やPTAなどに、「あいさつ運動」を取り入れていただくよう依頼をする。</li> <li>小学校の通学路に「あいさつ通り」を設置していただくよう、教育委員会を通じて、各小学校に協力を依頼する。</li> </ul>
提言	2. より効果が上がる「こども110番」活動を目指し、関係者による打合せや講習会などを開催する。
実施状況	A. 既に実施済 B. 一部実施済 C. 平成25年度に実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> D. 実施しない
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年11月6日(火)の防犯・防災分科会において、取り組みテーマ(案)の検討を行った結果、平成25年度には実施しないことに決定した。</li> </ul>
提言	3. 標高サインの表示を希望するコンビニ、医療機関など、不特定の方が利用する施設に標高サインを配布し、啓発を図る。(広報・ホームページで募集)
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 C. 平成25年度に実施予定 D. 実施しない
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>標高サインの第2ステップとして、コンビニ、医療機関など、不特定多数の方が利用する施設を対象に、依頼・配布する。</li> <li>☆2月1日号の広報たかはまに「標高サインの設置場所募集」記事を掲載し、広く呼びかけを行った(ホームページにも同様掲載)。</li> <li>☆2月を重点月間として、防犯・防災分科会のメンバーが、地域のコンビニ・医療機関などを訪問し、標高サインの設置を依頼している。</li> <li>☆平成25年度以降も設置場所の募集を継続する。 (平成24年12月に、モデル的に津波避難訓練で避難所として指定した場所(神明社、老人と子供のふれあい公園)に標高サインを設置した。)</li> </ul>
提言	4. 市内の防災リーダーやNPO団体、大学教授などによる、小中学校での防災教育の推進やNPO団体、大学教授、被災体験者などによる、東日本大震災の経験を伝承するための講演会を開催する。
実施状況	A. 既に実施済 B. 一部実施済 <input checked="" type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 D. 実施しない
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、小中学校での防災教育の推進に向けた検討・調整を教育委員会と防災担当部局が連携して進めている。</li> <li>平成25年度の高浜市「防災ネットきずこう会」の事業計画に、本提言の被災体験者による講演会を開催するよう調整を進めている。</li> </ul>
提言を受けて	安全・安心が実感できるような取り組みを家庭、地域、学校、職場など、より多くの方の協力を得て、進めていく。

# 目標（14） 一人ひとりの元気と

## 提言内容（健康分科会）

### 1. 地域医療ネットワークを知ろう！ かかりつけ医をもとう！

- 地域医療ネットワークの推進を図る（「病診連携」のシステムと「かかりつけ医」を持つことに関する市民への情報提供と啓発活動の実施）。
- 情報提供の方法：高齢者インフルエンザ通知に啓発チラシを同封する。
- 健康診査等の個人通知に啓発チラシを同封する。

### 2. 「いきいき健康マイレージ」口コミ作戦を始めよう！ 「いきいき健康マイレージ」実践者の声を広めよう！

- 「高浜市いきいき健康マイレージ事業」をはじめとした「市民自らの健康管理のきっかけ作りと継続のための仕組みづくり」を行う。
- 「高浜市いきいき健康マイレージ事業」の周知に口コミ作戦を行う。
- 実施者による効果を広く周知する。
- 対象事業の拡大を図る。
- 事業の広報掲載を行う。（9月15日号）

### 3. 地域の事業に積極的に参加しよう！

- 第2次「健康たかはま21」の今後の取り組みは、「市民自らが取り組むこと（自分のできること）」「地域で取り組むこと（地域のできること）」「行政で取り組むこと（行政のできること）」の3本の柱で推進をしていく。
- 多様な主体による事業実施のあり方をまずは「高浜市保健医療推進協議会」において検討していく。

# 健康づくりを応援します

## 提言に対する行政の考え方と対応

担当部署: 福祉部 保健福祉グループ

提言	<b>1. 地域医療ネットワークを知ろう！ かかりつけ医をもとう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療ネットワークの仕組みについて理解を深めるための講演会を実施した。(平成25年1月19日開催)</li> <li>・「かかりつけ医」を持つことの必要性和医療ネットワークを紹介するパンフレットを作成する。(平成25年2月までに)</li> <li>・健診案内やインフルエンザ通知に啓発チラシを同封する。(平成25年度)</li> </ul>

提言	<b>2. 「いきいき健康マイレージ」口コミ作戦を始めよう！ 「いきいき健康マイレージ」実践者の声を広めよう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯現役のまちづくりと連携した健康マイレージ通帳の新たな仕組み(心もすっきりインドアゴルフ会)を実施する。</li> <li>・宅老所やわくわくフェスティバルでの出張登録会を実施する。</li> <li>・インフルエンザ通知に案内チラシを同封する。</li> <li>・「いきいき健康マイレージ」実践者の体験談・効果を「口コミ作戦」や「広報等」で広く周知する。</li> </ul>

提言	<b>3. 地域の事業に積極的に参加しよう！</b>
実施状況	A. 既に実施済 <input checked="" type="checkbox"/> B. 一部実施済 <input type="checkbox"/> C. 平成25年度に実施予定 <input type="checkbox"/> D. 実施しない <input type="checkbox"/>
具体的な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の健康の保持や増進を目的とした会議である「保健医療推進協議会」において検討した。(平成24年11月15日)</li> <li>① 1次予防と2次予防の両方とも自らの取り組みが必要</li> <li>② 「健康の重要性」を行政がPRすることが必要</li> </ul> <p>この2つの視点により事業実施の状況やあり方、今後の具体的な取り組みを検討する。</p>

提言を受けて	「かかりつけ医を持つ」は健康分科会の大きな課題です。地域医療ネットワークという新たなツールにより「病診連携」と地域医療の充実を進めていく。
--------	---